

眼の前に公然とその姿を現すに至つた。

(ロ)従来我々は金融ブルジョアジの「ファッシズム的專制政治」に關しては極度の注意を拂ひ纏ゆる場面に於て、その反動性を暴露し力の限りそれと戦つて來たが、我國に純粹のファッショが擡頭するであらうことは豫測し得なかつた。否我々はむしろ「日本のやうに封建的專制遺制の多分に殘存してゐる國に於ては言ひ換ればブルジョア、デモクラシーが完成されてゐない國に於ては、更に云ひかへれば、金融資本の政治がそれ自體既に極度にファッショ的に出來上つてゐる國に於ては、イタリー式のファッショは擡頭する餘地がないであらう」と云ふことを主張して來た。これは日本の左翼全體の認識不足であつた。

(ハ)今や我が國に於ては、純粹のファッショが荒れ狂ふてゐる。そしてそれにつれて、従來金融ブルジョアジの手先として彼等の順使に甘んじて來た右翼ダラ幹共の中に「この際ファッショヘクラ替へよ、その方が有利だ」と云ふやうなことを考へ出した連中が相當に多數出てきた。赤松一派や、總聯合、全國労働のダラ共の一部のものがそれである。

三番四各國のフロックリアーに注意した事であつても、我々がその點を明確に認識しないならば、ファッショ粉砕の適確なる方針を立てることは不可能である。

(イ)當面、我々の眼前に擡頭してゐるファッシズムは明かに、金融資本に對する小市民層並に農民層の不平、不滿を内包してゐるものである。日本資本主義がその内在的諸矛盾の故に、小市民層並に農民層を極度の窮乏下に陥し入れられてゐる限り、そこからファッショが生れるであらうことは、當然考へられることである(少壯軍人の如きも今や全く將來への展望を失つて大多數が萬年大尉たることに甘んぜざるを得ないやうな状態に置かれてゐる。其處に彼等の不滿があり、あがきがあるのだ)。

(ニ)小市民若くは農民の金融ブルジョアジの支配に對する不滿は、それがプロレタリア・イデオロギーに結びついた場合はプロレタリア的勢力となり、ブルジョア・イデオロギー(特に我國の場合に即して言へばブルジョアジに依つて多年宣傳されて來た封建的イデオロギー)に結びついた場合にはファッショとして結集される。當面我々の眼前に擡頭してゐるファッシズムは後者の最も典型的な現れだ。

(ニ)軍部のファッショ共も、金融ブルジョアジと同じやうに無産階級陣營内に打ち立てることに必要に迫られてゐる。かくして今や、金融ブルジョアジとファッショと共にダラ幹共を自己の勢力下に引きつけることに努力してゐると同時に、右翼ダラ幹共の間にも、ファッショへ行かうとする者と飽まで金融ブルジョアジの方へ行かうとする者との二派を生じ彼等は互に抗争してゐるのである。

#### C ファッショの本質並にファッショと金融寡頭政治との關係

(イ)ファッショの本質に關する究明は未だに充分になされてゐない。全協の幹部は當面擡頭してゐるファッショ運動を簡單に「金融資本の政策だ」と片づけ、彼等のテロ行為をすら「金融資本のお芝居だ」と稱へてゐるが、これは、我々が過去に於て陥つてゐた認識不足の延長である。

(ロ)我々はファッショそのものと「金融資本のファッシズム的專制政治」とを混同してはならない、無論それらの中には引きはなすことの出来ない有機的關聯はあるが、それは決して同一物ではない。そのことは、コミンタンが再

(オ)だから、金融ブルジョアジは一面、確にファッショを恐れてゐる。だがそれと同時に彼等は他面に於てファッショを彼等自身(金融資本自身)のより徹底的な專制的支配確立のための道具に利用することを心得てゐる。その點彼等は極めて巧な政治的技術を持つてゐるのだ。それ故にこそファッシズムは、その運動に参加してゐる個々のメンバーが、金融資本に對する不平不滿を持つてゐると否とに拘らず、それが常に金融資本の道具となり、その番犬の役割を果す必然性を持つてゐるのだ。當面眼前の政治を直視せよ！そこに現れてゐる事實は、ことごとく右の論理を裏書してゐることのみである。

(ハ)日本の金融ブルジョア共は現在明かに「自由を欲せずして專制を欲してゐる」彼等は既に議會政治の形式を廢棄して、より高度の專制的支配の形式を要求してゐる。議會政治はそれ自體に於てブルジョアジの專制的支配の形式であるが彼等は今ではより徹底的な專制的支配の形式を、言ひかへれば、封建的な絕對專制の形式を欲してゐる。だが彼等は、かつてブルジョア政權樹立の過程に於て、自ら大衆の中へ宣傳し、それを曲りなりにも樹立したとこ